



富士スピードウェイ 本コース スポーツファースチュール3

2009年 7月19日(日) スポーツファースチュール3・Sportfahrschule 3のご案内

ポルシェクラブ六本木は、今期から開催するサーキットイベントを“スポーツファースチュール”と名称を変更し、去る5月23日に“スポーツファースチュール1”を開催致しました。

“スポーツファースチュール1”では、P7クローズドコースで空気圧の変化で車体の挙動がどのように変化するか体感頂き、空気圧の重要性を学んで頂きました。

“スポーツファースチュール2”では、自分のポルシェがブレーキング時、前後輪がどのような重量配分になるかを体感し、その時のポルシェの挙動を走行後に画像で確認できるようにしました。

そして、“スポーツファースチュール3”では、スポーツファースチュール1、2で学んだドライビングテクニックを、いよいよ富士スピードウェイ本コースで実践していただきます。

各々の参加者の技量に応じてステップアップして頂けるように、インストラクターとしてプロドライバーの余郷氏と“スポーツファースチュール”の校長でもありますジャーナリストの津久見氏を迎えました。また、特にビギナーの方には経験豊富な理事が同乗して、ポルシェの特性であるRRの荷重移動を体現し、アクセル、ブレーキング、ハンドリングの感覚、本コースのライン取りを丁寧にご指導致します。

“スポーツファースチュール3”は、単なる時間枠の走行会ではなく、スポーツドライビングスクールの形式をとっています。今回のテーマは、“ヘアピンコーナ”です。まず、走行前の座学でヘアピンコーナ走り方をインストラクターが解説致します。100Rからヘアピンへの侵入、ブレーキングポイント、クリッピング、高速コーナである300Rへのつながり、他の車両がいる場合の回避ラインなど、色んなケースを想定して解り易く説明致します。次に、インストラクターはヘアピンコーナ全体を見渡せる位置に移動し、皆様の走行を実際に評価します。

1回目の走行が終わると、質疑応答を中心とした座学を開校致します。走行感覚が新鮮なうちに疑問点をどんどん質問しましょう。しばらくの休憩をはさんで2回目の走行です。1回目の走行でうまくいかなかったところを修正しましょう。2回目の走行で皆さんがどれだけ上達したか、どこが良かったか、どこを修正すればさらに良くなるかインストラクターが評価し、最後のまとめの座学で総評を行います。

1度本コースを走った経験のある方ならお分かりだと思いますが、コースが広すぎてどこを走って良いのかさっぱりわからない。また、本コース攻略本やDVD等でライン取りの解説が多数紹介されていますが、複数の車両が同時に走行しているわけですから状況に応じて臨機応変に対処しなければなりません。それには実際に同乗のインストラクターや理事から直接学ぶのが一番の早道だと長年の経験から確信しています。

ご参加頂いた皆さんは、2回目走行のラップタイム短縮に驚かれることでしょう。

サーキット走行入門

また、今回新たな試みとして、完熟走行のみの参加枠を設けました。

完熟走行は、ペースカーの先導により、安全な車間距離を置いて低速で本コースを2周回するものです。その間、追い越しは禁止ですから安全に走行することができます。完熟走行に限りご同伴者の同乗が可能です。ご家族ご友人と本コース走行を体験してみたいかがでしょう。

完熟走行のみご参加の皆様にも、走行前のブリーフィング及び座学も受講していただきます。ゼッケンの貼り方や、走行前の準備等を学ぶことができます。完熟走行の後は、ピットで見学するもよし。エアコンの効いた休憩室から見学するのもよし。言わば、本走行を疑似体験できるわけです。

サーキット走行に少し興味があるが、本コースをいきなり走るのは誰も不安があるものです。初めて通る道は遠く感じるものです。ところが同じ来た道を帰る時は、さっきより近くに感じるものです。

あなたも1度体験してみたいかがでしょう。クローズドコースがいかに安全であるか。世界一安全と称されている富士スピードウェイ本コースの素晴らしい眺めと、その安全性を体感してみたいかがでしょう。

ポルシェクラブ六本木が主催するポルトファースチャーレは、ポルシェ主体ではありますが、BMW、アウディ、ボルボ、などの欧州車、GTR、フェアレディZなどのスポーツカーでもご参加になれます。

“いつかはポルシェ”、“この次はポルシェ”とお考えのあなた。是非ご参加いただきポルシェの素晴らしさと楽しさを実感して下さい。